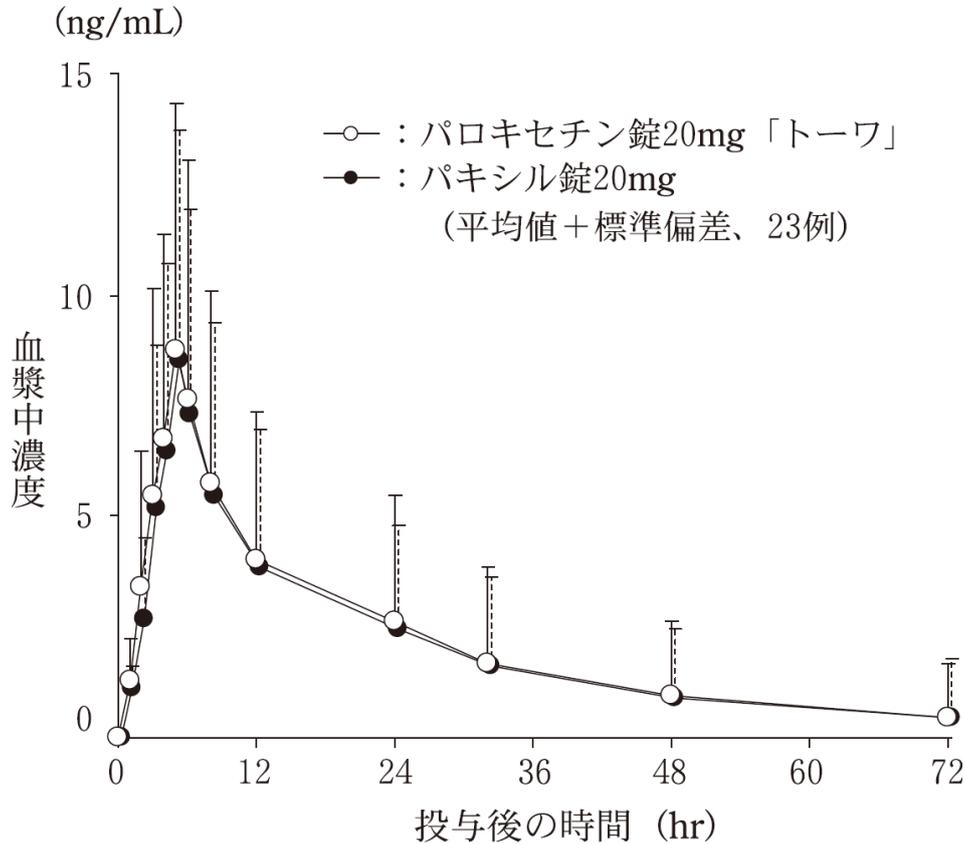


## パロキセチン錠 20mg「トーワ」の生物学的同等性に関する資料

パロキセチン錠 20mg「トーワ」とパキシル錠 20mg を、クロスオーバー法によりそれぞれ 1 錠(パロキセチンとして 20mg)健康成人男子に絶食単回経口投与して血漿中未変化体濃度を測定し、得られた薬物動態パラメータ(AUC、Cmax)について 90%信頼区間法にて統計解析を行った結果、 $\log(0.80) \sim \log(1.25)$ の範囲内であり、両剤の生物学的同等性が確認された。<sup>1)</sup>



薬物動態パラメータ

	判定パラメータ		参考パラメータ	
	AUC <sub>0-72</sub> (ng・hr/mL)	Cmax (ng/mL)	Tmax (hr)	T <sub>1/2</sub> (hr)
パロキセチン錠 20mg 「トーワ」	157.6±155.6	9.054±5.891	4.8±0.7	15.26±10.89
パキシル錠 20mg	148.4±143.4	8.560±5.196	5.0±0.5	16.53±17.59

平均値±標準偏差 (23例)

血漿中濃度並びに AUC、Cmax 等のパラメータは、被験者の選択、体液の採取回数・時間等の試験条件によって異なる可能性がある。

両剤の判定パラメータの対数変換値の平均値の差及び 90%信頼区間

パラメータ	AUC <sub>0-72</sub>	Cmax
平均値の差	$\log(1.0160)$	$\log(1.0222)$
平均値の差の 90%信頼区間	$\log(0.9297) \sim \log(1.1103)$	$\log(0.9348) \sim \log(1.1177)$

1) 田中 孝典ほか：新薬と臨牀. 2012 ; 61(3) : 625-637